

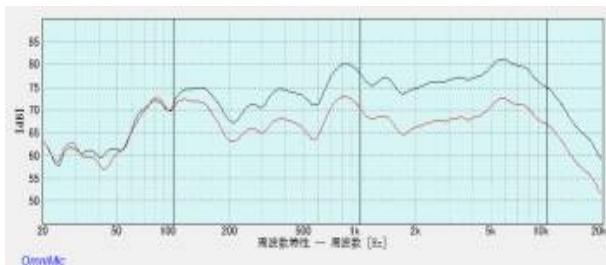
# 小型 2 WAY スピーカの試作



スピーカの音色はその周波数特性のバランスが決めている要素が大きいのでその調整が重要だと思います。

今回使用した PARC の 13 cm ウッドコーンはフルレンジとしても充分使えますが、音色バランスが少し中高域寄りなので明るい音色ですが、やはり低域が薄く感じられます。

そこでネットワークに低域補正を加え、相対的に少し持ち上げました。超高域は不足気味なので手持ちのツィータをつけ 2way としました。

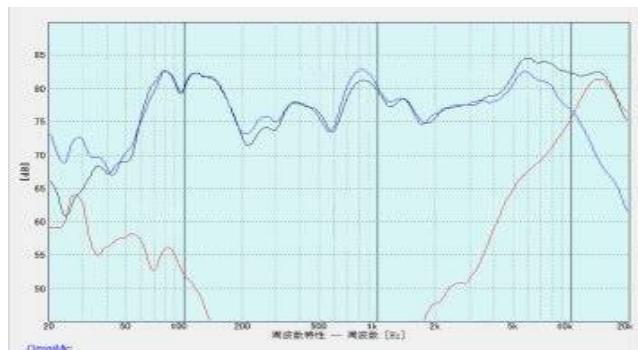
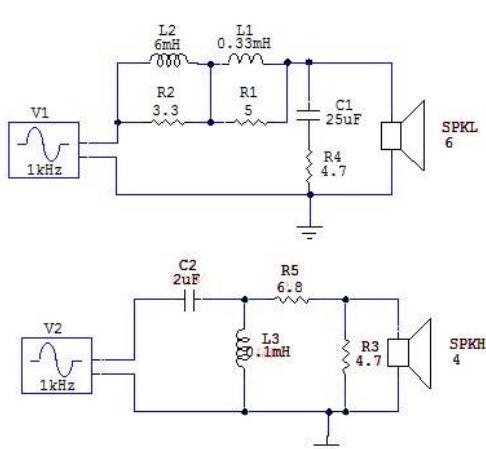


使用ユニットは

L : PARC DCU-F131W

T : DENON 32DT34

低域のネットワークは低域の上昇と中高域の減衰の 2段フィルター、高域は通常の 2次 HP でクロスは約 10 kHz です。



測定は室内 1 m の距離で OmniMic を使用しました。



スピーカ製作ではやはり特性測定が重要です。安価な ECM マイクやフリーソフトもありますので、測定を加えることでスピーカ作りが一段と面白くなると思います。

<http://milestone.at.webry.info/>